

パルボックス(旧:ツクダオリジナル)の
バンダイグループ入り後初のコラボレーション企画商品が実現
『ガンダムSEED立体キューブ』シリーズを発売

株式会社バンダイ

2002年7月に(株)バンダイ〔本社:東京都台東区 社長:高須武男〕のグループ会社となり、今3月より新社名にて営業を開始している(株)パルボックス〔旧社名:ツクダオリジナル 本社:東京都台東区 社長:中道幸作〕は、キャラクタールービックキューブ『ガンダムSEED立体ルービックキューブ 01ストライクガンダム』『ガンダムSEED立体キューブパズル HARO』(1500円/税別)を3月末より発売します。

『ガンダムSEED立体キューブ』は2002年7月にバンダイグループ入りしたパルボックスの立体パズル「ルービックキューブ」と、バンダイグループのキャラクターマーチャンダイジングノウハウのコラボレーション企画です。今後順次キャラクタールービックキューブシリーズラインナップを拡大し、年間50万個の販売を計画しています。

バンダイのキャラクターノウハウとパルボックスの定番商品がコラボレーション

「オセロ」「ルービックキューブ」「スライム」「エアウォーターガン」など多数のロングセラー定番商品を保有するパルボックス(旧:ツクダオリジナル)は、バンダイグループの玩具事業領域補完のため2002年7月にグループ入りしました。2003年2月には玩具メーカー(株)ワクイコーポレーションの営業を全て譲り受け定番商品領域の強化・拡大を行い、3月より新社名(株)パルボックスとしてスタートしました。

「ガンダムSEED立体キューブ」シリーズは、バンダイグループのキャラクターノウハウと、パルボックスの定番商品がコラボレーションした第1号商品で、パルボックスに社名変更後初の新製品となる記念すべき商品です。パルボックスでは、今後も定番商品とキャラクターの楽しさを組み合わせた商品の開発を行なっていきます。

「ガンダムSEED立体キューブ」シリーズについて

現在放送中のTVアニメーション「機動戦士ガンダムSEED」(MBS・TBS系 毎週土曜日 18:00~)に登場するストライクガンダムの頭部(1/30スケール)と、ロボットのHAROを立体パズルとして遊ぶことができます。一見簡単に見えますが、8分割されたパーツを回転移動させることで1万通り以上の組み合わせを楽しむことができる奥の深いルービックキューブです。

ルービックキューブとは？

ハンガリーのエルノー・ルービック教授によって発明され、日本では1980年にツクダオリジナル(現:パルボックス)によって発売。“究極の立体パズル”として爆発的なブームに。現在でも定番商品として人気を集め、日本での発売開始以来現在までに累計800万個を販売しています。

商品概要

<商品名> 「ガンダムSEED立体ルービックキューブ 01ストライクガンダム」
<価格> 1500円(税別)
<発売> 3月末
<商品サイズ> W110×D70×H80(mm)
<重量> 150g

<商品名> 「ガンダムSEED立体キューブパズル HARO」
<価格> 1500円(税別)
<発売> 3月末
<商品サイズ> W70×D70×H70(mm)
<重量> 110g



「ガンダムSEED立体ルービックキューブ 01ストライクガンダム」

(C)創通エージェンシー・サンライズ・毎日放送

Licence Seven Towns and (C) RUBIK 2003

この資料についてのお問合せ先

(株)バンダイ 広報チーム 田上、種田 TEL : 03-3847-5005 FAX : 03-3847-5067

商品についてのお問合せ先

(株)パルボックス 営業部 清田 TEL : 03-3843-1501 FAX : 03-3843-1502

バンダイホームページURL <http://www.bandai.co.jp>

パルボックスホームページURL <http://www.palbox.co.jp>